

Profile

小松 亮太 (コマツ リョウタ)

Ryota Komatsu

1998年、ソニーミュージックよりCDデビューを果たして以来、国内はもとより、カーネギーホールやタンゴの本場ブエノスアイレスなどで、タンゴ界における記念碑的な公演を実現している。アルバムも既に20枚以上を制作。「ライブ・イン・TOKYO ～2002」は、2003年にはアルゼンチン音楽家組合、ブエノスアイレス市音楽文化管理局から表彰された。2008年にはアストル・ピアソラの幻のオラトリオ「若き民衆」を東京オペラシティで日本初演。2013年にはピアソラの「ブエノスアイレスのマリア」をピアソラ元夫人の歌手アメリカ・バルタールと共演しライブアルバムをリリース。作曲活動も旺盛で、TBS系列『THE世界遺産』OP曲「風の詩」、映画「グスコブドリの伝記」(ワーナーブラザーズ配給・手塚プロダクション制作)ほか多数のサウンドトラックを手掛けている。タンゴ界に限らず様々なアーティストとの共演も多く、2015年にリリースした大貫妙子との共同名義アルバム『Tint』は、第57回輝く!日本レコード大賞「優秀アルバム賞」を受賞した。

Orchestra MOTIF (オーケストラ モチーフ)

「音楽で人の心を震わせたい」という理念の下、2012年に発足した学生オーケストラ。現在東京藝術大学の学生や卒業生を中心としたメンバーによって構成されている。2013年9月、第1回演奏会(ミャンマーの子供たちへ音楽を届けることを目的としたチャリティコンサート)で好評を博し、2014年にNPO法人ジャパンハート運営の、ミャンマーの養育施設ドリームトレインで演奏会を開催。以後継続的な支援活動を行う。2014年の目黒ユネスココンサートでは和波孝禧氏と共演。2015年には一般社団法人エル・システムジャパンの相馬子供音楽祭に参加。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭への出演など国内では様々な演奏事業、海外では音楽による支援活動を行っている。

●ソロコンサートミストレス:山田 香子(東京藝術大学大学院在学)

●ピアニスト:AKI マツモト(東京藝術大学卒)

松本 宗利音 (マツモト シュウリヒト)

Schuricht Matsumoto

大阪府出身。幼少の頃よりヴァイオリンに親しむ。京都堀川音楽高校を経て、東京藝術大学指揮科に進む。卒業時にアカンサス賞を受賞。2012年よりOrchestra MOTIF常任指揮者を務める。これまでに指揮を尾高忠明、藏野雅彦、田中良和、高関健の各氏に師事。また、在学中にダグラス・ボストック、パーヴォ・ヤルヴィ各氏のマスタークラスを受講する。名の宗利音(シュウリヒト)は世界的指揮者である、カール・シュウリヒト氏の夫人に名付けられたものである。

目黒ユネスココンサート2016

～次世代への平和と文化のメッセージ～

小松亮太

Ryota Komatsu × オーケストラ
モチーフ

Orchestra
MOTIF

—— アルゼンチンタンゴとクラシックのコラボ ——

2016年12月4日(日)

開場 13:30 開演 14:00

めぐろパーシモンホール 大ホール

主催: NPO法人目黒ユネスコ協会 / 共催: (公財)目黒区芸術文化振興財団
後援: 目黒区 / 目黒区教育委員会 / 目黒区小・中学校PTA連合会
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 / 東京都ユネスコ連絡協議会

NPO法人
目黒ユネスコ協会

〒153-0053 目黒区五本木2-24-3

TEL: 03-5725-6150 (月～金13:00～16:00)

FAX: 03-5725-6160

Email: meguro@unesco.or.jp

URL: www.unesco.or.jp/meguro/

第47回
目黒ユネスココンサート



201612

Meguro UNESCO Association

MEGURO
UNESCO
CONCERT
2016

Ryota Komatsu
×
Orchestra MOTIF

Sunday, December 4, 2016

Meguro Persimmon Hall

ごあいさつ

本日は、目黒ユネスココンサート2016にご来場ありがとうございます。

1975年のバングラデシュ支援をきっかけに誕生したチャリティコンサートが、今ではこのように大きな会場で毎年開催できるまでになりました。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

今回は2014年の初出演が好評だったオーケストラモチーフと、タンゴ界の第一人者、バンドネオンの小松亮太氏による異色のコラボレーションです。音楽には、民族や文化の違いを超え、互いに受け入れ、共鳴し、高め合う力があります。日曜の午後のひととき、クラシックとアルゼンチンタンゴの共演をどうぞお楽しみください。

※このコンサートの収益は世界寺子屋運動・東日本大震災復興支援などの支援活動に充てさせていただきます。

NPO法人 目黒ユネスコ協会



「目黒ユネスココンサート 2016」によせて

目黒ユネスコ協会が60年余にわたり、平和と文化等の振興のため、様々な分野において、目黒区とともに歩んでいただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

NPO法人目黒ユネスコ協会は、日本全国に270団体あるユネスコ協会、クラブの中でも、最も活発に活動されている団体の一つと伺っております。

とりわけ、日本の藍染体験などの国際交流ひろば、震災支援として目黒ユネスココンサートの開催、国際文化交流講座などにより、目黒区民の文化、芸術、国際交流活動等に大きくご尽力いただいているところでございます。

今年の「目黒ユネスココンサート2016」は、バンドネオン奏者として世界的にも活躍され日本のタンゴ会を牽引してきた小松亮太氏、結成4年ほどの学生オーケストラOrchestra MOTIFによるアルゼンチンタンゴの世界観とクラシックの繊細かつ壮大さがコラボレーションする異文化の響演を企画いただきました。両者で奏でる名曲の数々を、身近に拝聴できるとのことで大変楽しみにしております。

響演による新たな世界観を通じて、音楽の素晴らしさを多くの方に届けていただけることに感謝申し上げますとともに、目黒ユネスコ協会の活動が、今後もますます発展していきますことを心より願っております。

目黒区教育委員会 教育長 尾崎 富雄

Program

—— 第1部：オーケストラ ——

チャイコフスキー：バレエ「くるみ割り人形」Op.71より抜粋
Tchaikovsky : *Ballet “The Nutcracker” Op.71 (excerpts)*

小序曲・行進曲・スペインの踊り・トレパック
葦笛の踊り・中国の踊り・花のワルツ

*Miniature Overture・March・Spanish Dance・Trepak
Dance of the Reed Flutes・Chinese Dance・Waltz of the Flowers*

モーツァルト：交響曲第38番 ニ長調 K.504より第1楽章
Adagio – Allegro

Mozart : *Symphony No.38 D-major K.504, 1st Movement*

—— 第2部：バンドネオン／オーケストラ ——

小松亮太：風の詩 ～THE 世界遺産
TBS系「THE 世界遺産」オープニング・テーマ
Ryota Komatsu : *KAZE-NO-UTA*

夢幻鉄道

Ryota Komatsu : *Locomotion - Loco*

カルロス・ガルデル：首の差で (ボル・ウナ・カベサ)
Carlos Gardel : *Por una cabeza*

アストル・ピアソラ：オブリヴィオン (忘却)
Astor Piazzolla : *Oblivión*

リベルタンゴ
Astor Piazzolla : *Libertango*

アディオス・ノニーノ
Astor Piazzolla : *Adiós Nonino*

もちろん目黒ユネスコ協会の皆さんと同様、僕も音楽の力で様々な国や民族の人たちと手を繋ぎたいと願うミュージシャンではありますが、実はほんの数年前まで「外国の人と繋がる」ことに決して積極的ではありませんでした。海外のミュージシャンとは何度となく重要な仕事を共有してきたにもかかわらず、です。理由はしょうもないのですが、英語ができなかったせいです。しかし思い立って(子供レベルですが)勉強をし始めると、今までスペイン語の習得で悩んでばかりいた時間は何だったのかと思うくらい、様々な国の友人と仲間が増えました。フェイスブックや格安航空券の発達も彼らとの交流に拍車をかけ、言葉も文化も違う人達と共に演奏し、悩み、酒を飲み、本音をぶつけあうのが当たり前になりました。バンドネオンというドイツの楽器がアルゼンチンタンゴの主役となって百年。さらにその日本人プレイヤーである僕が、台湾人や韓国人、あるいはインドネシア人から依頼されて一生懸命教えています。

図々しいかも知れませんが、神様か仏様が僕のささやかな努力を目黒ユネスココンサートに出演させていただくに値するものと認めてくれたのだ、と、今回は思わせて頂きたいのです。どうぞよろしく願いいたします！

小松 亮太

オーケストラモチーフは、これまでに6回の自主公演やリサイタル開催プロデュース・室内楽公演プロデュースなどの国内活動、また東南アジア・ミャンマーの子どもたちへ音楽の彩りを届ける活動や福島県相馬市の子どもの初オーケストラ共演体験を実現するチャリティ活動など、多彩な文脈において「音楽を届ける」活動をして参りました。これまで我々の活動は常に音楽と共にあり、また音楽の持つ力それ自体や、その限らない力によって何ができるのかを自問する旅のようでもありました。目黒ユネスココンサートに出演させて頂くのは今年で2回目となります。この素晴らしい機会と本日ご来場の皆さまとの出会いにおいても、その自問が答えとなって結実し、皆さまの人生の一瞬に音楽という彩りをお届けできることを切に願っております。どうぞお楽しみ下さい。

Orchestra MOTIF 代表 山上 誠史

本日はご来場ありがとうございます。モチーフがこのコンサートに出演させて頂いたのが一昨年でしたが、今年またこうして出演できることは、私にとってもモチーフにとっても代えがたい喜びであります。プログラムは、聞き馴染みのあるものも交えながらクラシック音楽の魅力をご紹介します第1部、雰囲気打って変わってバンドネオンが大活躍する第2部という構成でお送りします。

また今年の演奏会の注目は、やはりバンドネオン奏者の小松亮太さんという素晴らしいアーティストとの共演です。普段は主にクラシック音楽を勉強している我々にとっては新しい挑戦でもあります。こうした機会を頂けたことに心から感謝し本日は演奏いたします。ぜひ最後までお聴き下さい。

Orchestra MOTIF 常任指揮者 松本 宗利音